

2022年度トライきつず・プロ砂川七番職員向け放課後等デイサービス評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	今後に向けての意見
環境 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	3	0	机の間仕切りについては職員で検討いたします。
	2 職員の配置数は適切であるか	4	6	0	職員の配置に関しては20名に対しての児童指導員4名が必要です。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	2	1	車いすご利用の方は、奥に間口が広い手すり付きのトイレがあります。手洗い場などは個別に対応策検討したいと思います。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	7	1	サービス提供記録に月ごとの目標設定とまとめを行う欄を設けてPDCAにつなげています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	8	1	希望するサービス内容についてのアンケートと自己評価を行いました。今後も保護者様の意見を聞く機会を増やし業務改善につなげたいです。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	2	0	ホームページで公開しています。印刷し配布予定です。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	8	1	第三者評価は未実施です。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	4	4	来年度より支援の質向上のための研修を増やしたいと考えています。
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	8	0	事業所内で行うアセスメントは職員間で共有していきます。客観的な評価分析が行えるように改善していきたいです。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	8	1	WISC等は外部で実施したものを、保護者・本人のご協力がいただける場合情報提供していただいています。Vineland-IIの実施は今年度ありませんでした。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	8	1	学習支援プログラム及び、以外のプログラムの立案について来年度からチームでの立案ができるようシステムを見直したいと思います。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	8	0	教科学習のみでなく、様々な学びの場を作るよう検討していきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	7	0	長期休暇は特に様々な学びの体験ができるよう課題設定を行ってまいります。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	8	0	個別対応の希望を多くいただいています。小集団の中で多様価値観を学んだり、他者とコミュニケーションを図るなどのニーズもあるため、子どもに合わせた計画を作成していきたいと考えます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	6	2	常勤職員で細やかな打ち合わせを行い、非常勤職員に連絡しています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	4	4	HUGを導入し、指導員の気づきを記録し、職員間で共有していきます。
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	4	0	サービス提供記録の書き方について、研修やケースワークを行っていきます。管理を行う職員が記録内容を確認します。
	18 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを判断しているか	2	8	0	コロナが落ち着いてきたので、対面による面談を再開し、本人及び保護者と計画の振り返りを行ってまいります。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	3	7	0	「現在は自立支援と日常生活充実のための活動」の教育活動が中心です。自然に触れる「創作活動」、「地域交流機会の提供」「余暇支援」なども今後力を入れていきたいと考えます。
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	8	0	モニタリングは電話での聞き取りや訪問が多かったです。サービス担当者会議に招集された場合、参加しています。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	1	9	0	学校行事予定・年間計画の確認には来年度力をいれていきます。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	7	0	現在、医療的ケアが必要な児童はいらっしゃいません。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	9	0	今後、新規に受け入れを行う場合、保護者の意向を確認し情報共有を進めたいと考えます。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	8	0	今年度実績はありません。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	8	0	必要に応じ、地域療育等支援事業など活用していきます。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	7	1	今年度実績はありません。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	9	1	放課後等デイサービス事業所連絡会に参加しています。報告事項を職員間で共有したいと思います。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	4	0	HUGを導入し、事業所での様子取りや訪問を行うようにしていきます。適宜事業所内相談支援を行い、ご家庭と共通理解をもって支援できるように努力します。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	8	2	今年度実績はありません。来年度法人で実施したいと考えます。

護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	5	0	契約時に説明を行います。運営規定は事業所に置くとともに、いつでも確認できるようにHUGに掲示します。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	3	0	保護者からの相談に応じられるよう、相談・支援スキルの向上に努めます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	9	0	今年度は3月に開催しました。来年度は機会を増やしたいと考えます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	4	0	苦情を業務改善に繋げられるよう、事業所外にも窓口を設けます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	6	2	今年度発行がありませんでした。来年度配信予定です。
	35	個人情報に十分注意しているか	8	2	0	個人情報保護の研修を行い、業務も日々見直します。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	4	0	コミュニケーションを円滑に測れるよう改善します。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	7	2	今年度の実績はありません。次年度検討します。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	6	0	マニュアルを更新し、HUGに掲示するなど職員・保護者への周知を行います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	5	1	ご利用者様の参加の消防訓練は年2回実施しています。多くの方が参加できるように、今後機会を増やしたいと思います。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	6	0	虐待防止委員会を設置しています。虐待防止の研修を行います。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	7	1	虐待防止研修の中で説明しています。事前の予防策を検討したうえで、配慮が必要な可能性がある場合、個別支援計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	7	1	来年度、対象者からアレルギーの指示書を頂きます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	9	0	ヒヤリハットは日々確認し、記録し、法人で共有できるようシステムを再構築します。